

京都路地入

Kyoto
logie





路地を歩いていると、ごくごく普通にこういう光景の隣を
通り過ぎていきます。

よくよく見るとちょっとしたパターンがあったり、
こんな感じの高等テクニックを駆使していたり。

中には残念な感じになっているところもありますが、
この軒の下ガーデンにかけるこだわりって
一体なんなんでしょう。



植えてある草の種類も多彩というか、
一癖二癖感じるようなのが多いです。





こういう旅館とか商店の玄関脇は、シュツとした木を
単品でおいてはるのが多いです。
イメージとか雰囲気とか、デザインされた佇まいという

感じがします。

これは、根元の植え込みも鉢も凝ってますね。



これは寄せ植えタイプ。
植木鉢の台になってる多分象さんがかわいい。

牛乳のボックスが地べたに置いてあるのは、
腰曲がっているとその方が取りやすいから、
でしょうか。



これはひな壇タイプ。
夏になると、あの緑の網のところに朝顔が伸びてくるのか、
ひょっとしたらゴーヤかも。

多年草の植木って、年々増殖していくんですね。



これはラインダNSTAIPの山脈型。
何が山脈なのか、この角度ではわかりにくい。



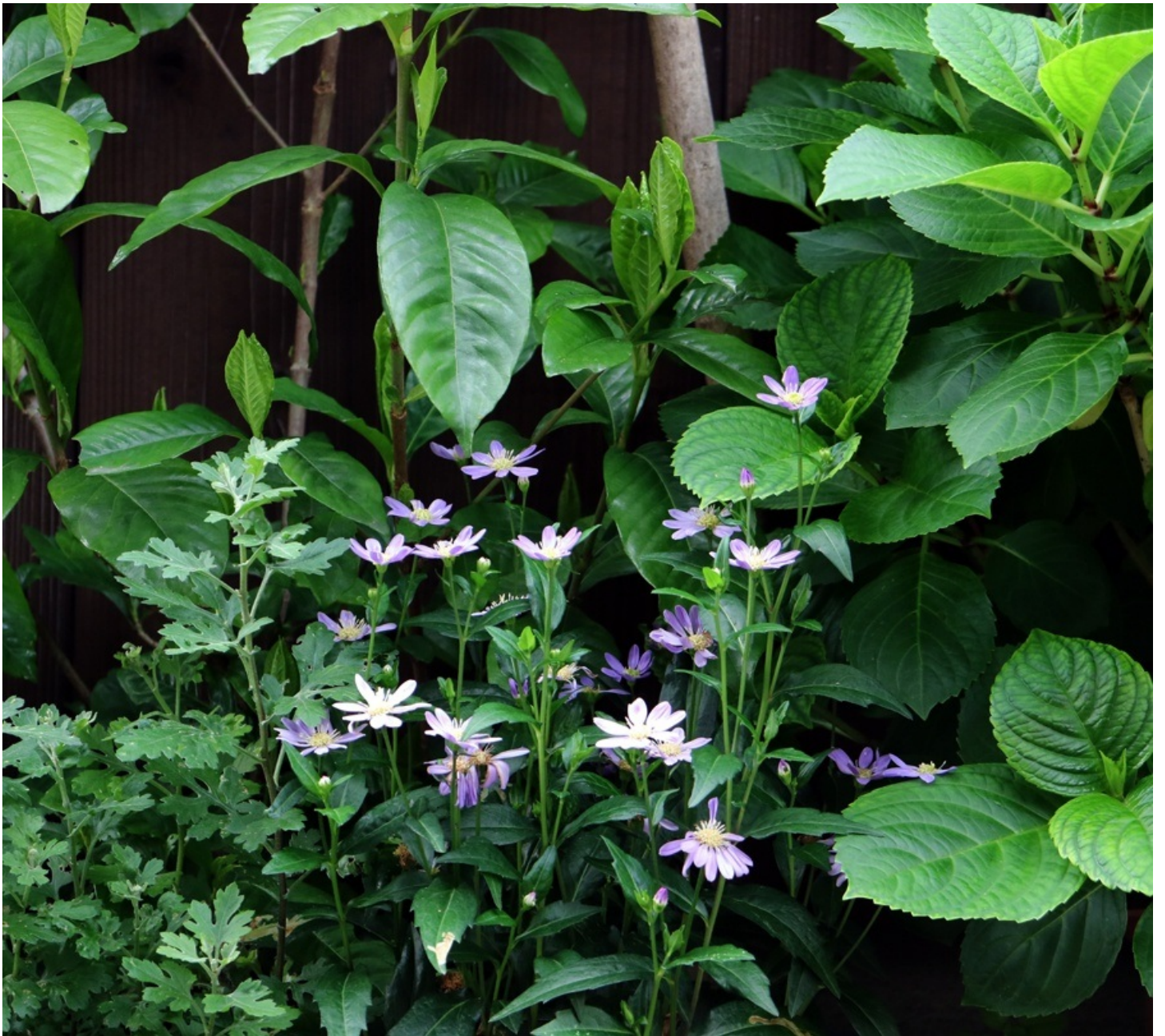
見事な枝振りの松でございます。
プロの職人さんの仕事でしょうね。



ちょっと、わけのわからん状態になりかかっている気がしなくもない。

防壁型の植木です。

こっから内っ側には入ってこんといて、というてはるわけです。



可憐だ。



寄せ植えタイプ。こじんまりして、とてもお洒落だと思いました。

下が前下がりに傾斜しているので、鉢の下に木を敷いてるのが細かい。



ここのお宅はいろんな花を育てておられるようで、
この木が何なのか、私にはわかりませんでした。
こういうのが通勤の途中にあたりしたら、

毎日が楽しみだろなあ。



池もある。

時々金魚が泳いでたりするんですが、ここにはいませんでした。



メキシコタイプ (なんでやねん)
頻度は少ないけど、ちよくちよく見かけます。
特にアロエは多いです。



角石タイプ。

家の角のところに大きい石を置いてあるのは有名ですが、
ここは↓な感じで、植木鉢を置いています。





ごく最近改装されたのでしょうか。

積んである木は、改装の時使わなくなった古材かなあ。

右上のトレーには、種が水につけられていました。

種から育てるんですね。



祠と軒の下ガーデンの揃い踏みです



ひな壇タイプですが、ちょっと置きすぎではないでしょうか。
かなりたわんでます。
というか、この長くて分厚い板。このためにワザワザ買ってきたのか？



アロエ出ました。昔は火傷をするとアロエを貼ったものです。



バラの季節です。路地もバラでいっぱいです。



新落庵

春風亭



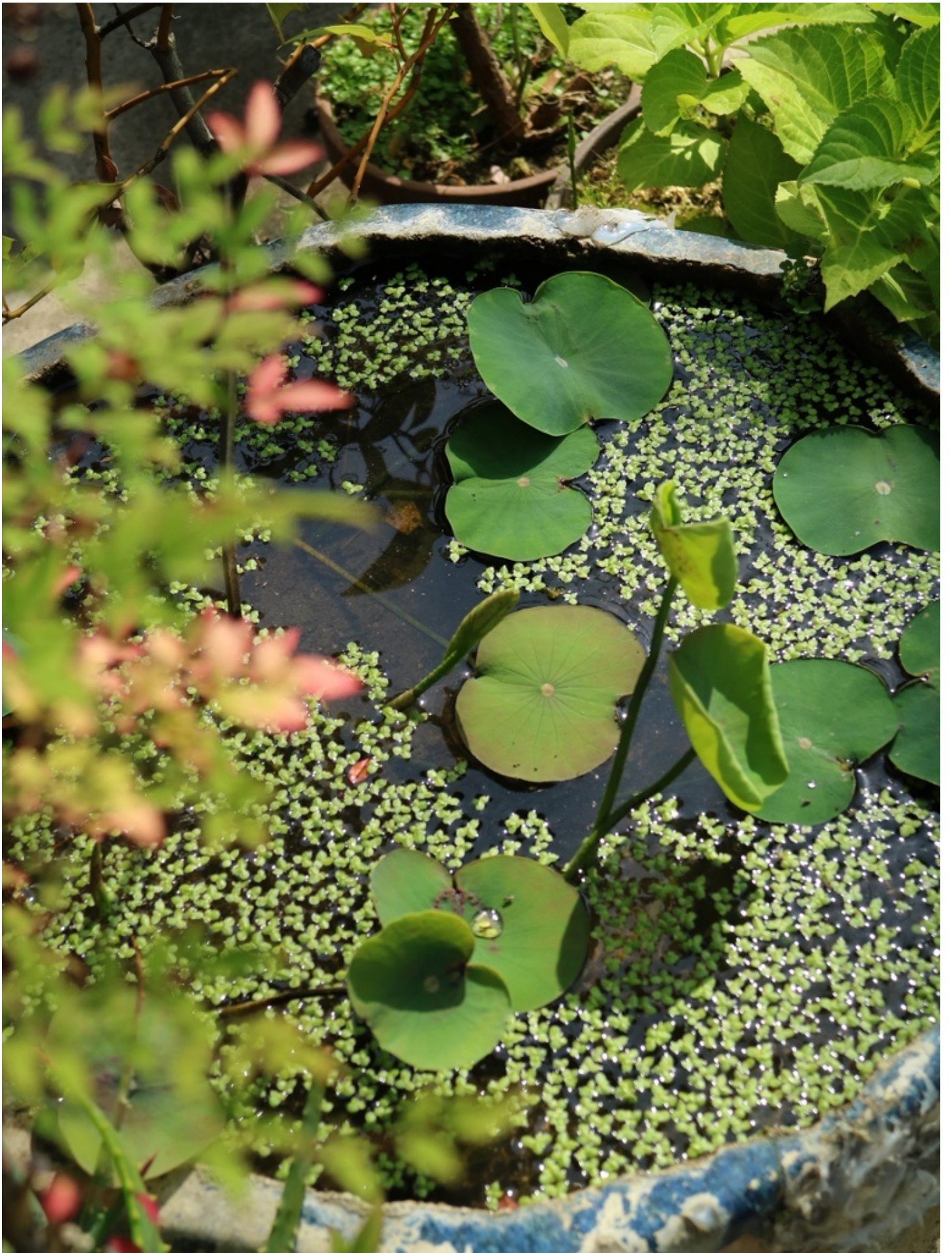


公園で地域のラジオ体操をなさってました。
犬っころはいますが、じいちゃんがいません。



練炭火鉢と普通の火鉢ですが、もったいないです。

うーん、これは勿体無い。









紫陽花にはまだ少し早いのですが、見れてよかったです。







これも角石タイプです。



こういうばあちゃんが育てておられるのですね。

ここは名人の庭でした。

何が名人かというと、この



美しい稜線。まさに山脈タイプの典型と言えるでしょう。



パイプやガスメータなんかをすだれで覆っているところが
お洒落ですねえ。



セクシーな腰つきのバラ。
どうやったらこんなに大きくなるんでしょう。
建物全体を覆いそうだな。



ラインダンスタイプの大喜利型です。
それぞれ個性的です。





何種類ものバラを見事に咲かせているのには、
こうした日頃のお世話が大事なんだろうなあ。





ハンギングバスケットは珍しいです。





レモン？
よりによってレモン。



途中見かけたこじんまりとしたお寺の境内。











もう直ぐ紫陽花の季節ですなあ。

よろしければ、お持ち帰りもどうぞ。

[https://plus.google.com/u/0/114885429053251684713/posts/6RfUctGKEKi?
pid=6287662482379808530&oid=114885429053251684713](https://plus.google.com/u/0/114885429053251684713/posts/6RfUctGKEKi?pid=6287662482379808530&oid=114885429053251684713)

真下魚名の既刊

[Travelogue ep.10 ランチに間に合えば](#)

[たそ彼時まで](#)

[京都路地入-Kyotologie- 鴨川](#)

[passer un après-midi 13](#)

[梅催い、晴れ](#)

[京都路地入-Kyotologie- 二条通](#)

[passer un après-midi 12](#)

[京都路地入-kyotologie- えべっさん](#)

[京都路地入-kyotologie- 京都駅0番線](#)

[le temps](#)

[からくれないに IV](#)

[京都路地入-kyotologie- 御所一般公開](#)

[Travelogue ep.9 ここのPizzaは出前を頼めない](#)

[京都洛以外-Kyoto Lucky guy 2](#)

[Travelogue ep.8 タルトまで60km](#)

[京都路地入-kyotologie- 萩を巡りて](#)

[Travelogue ep.7 晩夏を探して](#)

[passer un après-midi 11 午後の過ごし方](#)

[京都路地入-kyotorogie 祇園祭 後編](#)

[京都路地入-kyotorogie 祇園祭](#)

[京都洛以外-kyoto Lucky guy 三室戸寺](#)

[京都路地入-kyotorogie 一保堂](#)

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵 茶室](#)

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵](#)

[京都路地入-kyotorogie 吉田山](#)

[サマータイム・ブルーズ2](#)

[京都路地入-kyotorogie 一条通](#)

[桜守りの庭 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電](#)

[梅催い、雨模様](#)

[「passer un après-midi 10 午後の過ごし方」](#)

[冬の手紙2](#)

[冬の手紙](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4.5](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4](#)

[ilminaria 2](#)

[ilminaria](#)

[Flower Garden II](#)

[Travelogue ep.05 山へ行く](#)

[Flower Garden](#)

[Travelogue ep.04 蓼科へ](#)

[passer un après-midi 9 午後の過ごし方」](#)

[Monochroque](#)

[passer un après-midi 8 午後の過ごし方」](#)

[passer un après-midi 7 午後の過ごし方」](#)

[空と菖蒲と、蓮と](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3<](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2](#)

[Travelogue ep.03 近つ淡海](#)

[passer un après-midi 6 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」](#)

[「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」](#)

[Photo 「花水硝」](#)

[「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」](#)
[「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」](#)
[「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」](#)
[「passer un après-midi 午後の過ごし方」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)
[「Travelogue ep.02 桜巡り」](#)

— 僕カノシリーズ — バックナンバーズ

[「僕が彼女に殺された理由（わけ）」](#)
[「僕と彼女の選択の事由（わけ）」](#)
[「僕と彼女はそれしか答えを見つけれなかった」](#)
[「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」](#)
[「僕と彼女と複雑な関係者たち」](#)
[「僕と彼女と単純な関係式」](#)
[「僕と彼女と校庭で」](#)
[「僕と彼女と校庭で 夏」](#)
[「僕と彼女のアリア」](#)

[「黄金の麦畑」 1.Largo](#)
[2.Allegro molto](#)
3.Adajo

[「黄昏の王国」](#)
[イーリアス編](#)
[アリシア編](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」](#)
[「Travelogue ep.01」](#)
[Photo「Hina」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」](#)
[Photo「からくれないに ni」](#)
[Photo「bleu, jaune, vermillon」](#)
[Photo「H.45」](#)
[Photo「Fly me to Paris I～XIV」](#)
[Photo「祇王 こげのころも」](#)
[Photo「空と雨と6月と」](#)

小説

[「ネガティブズ2」](#)
[「ネガティブズ」](#)
[Photo「空と僕と自転車とni」](#)
[Photo「空と僕と自転車と」](#)
[Photo「空と椿と木蓮と、そして花水木」](#)
[Photo「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」](#)
[Photo「空と雲と、ときどき春の野に行く」](#)
[Photo「空と月と、夜桜デート」](#)
[Photo「空と木と、ときどきの梅暦」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」](#)
[Photo「空と木とたまに月」](#)
[Photo「からくれないに」](#)
[Photo「空と雲と、ときどき月」](#)
[Photo「夢みる桜」](#)

— その他 —

[傘がない](#)
[夕暮れの赤ちょうちん](#)

[いもうと](#)

[サマータイム・ブルーズ](#)

[危険なドライビングマジック](#)

[デフラグメント](#)

[インフルエンス あのころの僕たち](#)

[花舞い、名残り雪](#)

[詞画集「ただ憧れだけを」](#)

[画集「彼と彼女の表紙画集」](#)